

## はつらつプレーに たくさんのエール

9月16日、総合公園第1自由広場で第65回行田市実年ソフトボール大会が開催されました。

これは人生で一番充実する世代といわれる50歳以上が出場する大会で、健康づくりだけでなく、地域コミュニティの形成にも役立っています。選手らははつらつとしたプレーに両ベンチからたくさんのエールが送られていました。



## 水しぶき上がる 白熱した水泳大会

9月2日、行田市民水泳大会が開催され、小学1年生から83歳までの選手205人が行田市民プールに集まりました。

自由形や平泳ぎなど79部門あるこの大会に、選手は練習の成果を発揮しようと力強いストロークで泳ぎました。各レース終盤には大きな水しぶきとともにラストパートをかけ、歓声が場内に響きわたる中、激しい順位争いが繰り広げられました。



## 大豆で長寿に

9月12日、VIVAぎょうだ調理室で保健センター主催の「健康づくりチャレンジポイント認定講座 長寿の秘訣!大豆活用術」が開催されました。

9人の参加者は、同センター栄養士から大豆の健康効果に関する講話を聞いた後、「大豆の明石焼き風チヂミ」と「きなこ団子」の調理に挑戦。簡単においしくできたと楽しそうにテーブルを囲んでいました。



## 笑いに満ちたユーモアな時代劇

9月2日、商工センターパブリックホールで「足袋蔵の町に鼠小僧現る!」が開催されました。

忍城おもてなし甲冑隊で成田長親役の野原のぼさんが扮する鼠小僧を岡っ引らが必死に捕えようとする様子をユーモアあふれる歌や踊りで演じ、観衆を大いに沸かせました。この日の鼠小僧は小判ではなく、来場者に笑いを振りまいていました。



## 地域における 交通事故ゼロを目指して

9月15日、「みらい」文化ホールで「秋の交通安全運動出発式」が開催されました。

行田市交通安全母の会会長小林佳奈子さんが、交通事故死ゼロを目指して一層の交通安全対策を推進していただきたいという県知事のメッセージを市長に伝えました。秋から年末にかけて夕暮れ時に交通事故が増加するため、早めのヘッドライトの点灯とハイビームの活用など、交通ルールとマナーを守り、交通事故防止を心掛けましょう。



## 消防技術の 安全・確実・迅速さを競う

9月9日、消防本部訓練場で第46回行田市消防団消防操法大会が開催されました。

小型ポンプの部に5警備隊、自動車ポンプの部に14分団が出場しました。審査は行動の正確さ、所要時間、チームの一体感、節度ある動作などが採点され、総合評価で小型ポンプの部は東部警備隊、自動車ポンプの部は北部第8分団が優勝しました。団員らの日ごろから真剣に取り組む訓練の積み重ねが地域のつながりを強め、生命と財産を守っています。



## 全67点の芸術作品が一堂に

8月22日から9月3日まで、産業文化会館アートギャラリーで行田市美術家協会主催の「第24回行田市美術家協会展」が開催され、多くの人々が訪れました。

今回展示されたのは、絵画・工芸・書・写真など全67点。多彩な芸術作品が展示された会場では、出品者自ら作品を説明する光景も見られ、来場者は和やかな展覧会を楽しんでいました。



## ふるさと回帰フェアで 本市の魅力をもっとPR

9月9日、東京国際フォーラムで開催された移住イベント「第14回ふるさと回帰フェア2018」に出展しました。

本市が設けたブースには、移住を考える多くの人々が来場。移住・定住コンシェルジュによる本市の移住制度や地域の情報などの説明に耳を傾ける様子から、移住への関心の高さがうかがえました。

